

## 寺井 雄二 議員

### 浅羽地域への津波対策は 早急の課題

**問** 海浜公園の計画の中に、津波対策として避難丘の設置を検討すべきと考えるが。

**答** 防災機能をあわせ持つ丘を設けた海浜公園は、緊急避難場所にもなり得る。防災機能を含めた総合的観点から、地域の方々と検討していきたい。



### 学校と家庭との

#### 交わりはどうか

**問** 子供達が個々に持っている潜在能力をどのように引き出しているか。

**答** 子供の持つ潜在能力は千差万別であるが、何事にも達成感を感じさせるなど、自己肯定感を持たせることが非常に大事であると考える。子供一人一人のよさをはぐくみ、心ゆたかな人づくりに努めていきたい。



津波対策が検討される浅羽海岸

**問** 家庭におけるしつけと学校教育との関わり合いは、どのようになされているか。

**答** 市では、「心ゆたかな人づくり」を教育の理念に掲げ、徳育を通じた人づくりを行っている。その取り組みの1つとして、具体的な子供の姿を表した徳育評価指標を作成した。保護者も子供たちを育てる中で活用していただきたい。

## 佐藤 省二 議員

### 公民館活動の充実を

**問** 公民館活動を充実させるために、適正規模や職員体制をどう考えているか。

**答** 公民館の運営は、人口規模だけでなく、地域のつながりなどの実情を考慮することが望ましい。職員増も含め、円滑な公民館運営ができる体制を検討していきたい。



### 地震対策の新たな

#### 取り組みの内容は

**問** パートナリシップによる地震対策の新たな取り組みの内容は。

**答** 地域防災対策会議を市内19か所で開催し、12月までに骨格をまとめていきたい。会議は月1回を目安に、5〜6回程度の議論を重ねていただきたいと考えている。

### 震災地を支援する

#### 「市民の会」について

**問** 民間の発想と行動による震災地支援を、サポートすべきと考えるが。

**答** 被災地の復興は、中長期視点で、ニーズに合わせた様々な支援活動が必要である。民間団体を含めたオール袋井体制で設立した「被災地を応援する袋井市民の会」により、長期的、継続的な支援を展開したい。



「被災地を応援する袋井市民の会」設立総会